

### 四国運輸局所管主要短距離フェリーの経営実態（推移）

区分		年度				
		29	30	元	2	3
営業損益	利益計上航路	2	2	2	0	0
	欠損計上航路	3	2	2	3	3
経常損益	利益計上航路	2	2	3	1	0
	欠損計上航路	3	2	1	2	3
全航路の 航路損益 (合計した もの)	営業収益(A)	5,712,758	5,631,857	5,910,445	4,067,745	4,094,523
	営業費用(B)	5,406,737	6,297,284	5,619,073	4,850,613	5,080,168
	営業損益(A-B)	306,021	△ 665,427	291,372	△ 782,868	△ 985,645
	営業外収益(C)	109,002	173,933	121,347	620,889	210,723
	営業外費用(D)	50,487	80,238	67,433	52,946	48,307
※単位： 千円	経常損益 (A+C-B-D)	364,536	△ 571,732	345,286	△ 214,925	△ 823,229

### 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構による旅客船建・改造量の推移

区分		年度				
		29	30	元	2	3
申	隻数	7 (2)	11 (3)	9 (2)	9 (4)	10 (3)
	事業者数	6 (2)	10 (3)	8 (2)	9 (4)	10 (3)
込	総トン数	737 (239)	10,797 (158)	32,944 (299)	20,271 (2,884)	1,232 (354)
実	隻数	7 (2)	11 (3)	8 (2)	9 (4)	10 (3)
	事業者数	6 (2)	10 (3)	7 (2)	9 (4)	10 (3)
績	総トン数	727 (243)	10,546 (151)	32,061 (309)	20,271 (2,884)	1,232 (354)

(注) 1 ( ) 内は、当運輸局管内分である。

2 2,3年度の実績は独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構の決定ベースである。

(令和4年3月31日時点)